



facebook



HP



ブログ

発行 木更津市議会 会派市民ネットワーク
2020年9月25日(議会終了翌日)
◆ 問い合わせ先 木更津市 議会事務局
MAIL tanaka-noriko@live.jp

田中のりこの議会速報

9月補正予算 令和元年度決算 第二次地方創生臨時交付金 9億3406万円 陸自オスプレイ

「飛行計画」の情報公開
防衛省がやっと「前向きに検討」
地域振興費市独自財源4200万円
基地周辺8自治会と6漁協に交付
「コロナ禍での保育・教育支援」
「市立保育園行事映像制作事業」
園行事の3密対策。私立にも補助
「修学旅行等キャンセル料支援」
高齢者が経済活性化に一役
「敬老カタログギフト事業」に期待
目立つおまかせ 委託事業
「新しい生活様式」での経済活性化
デジタル化の事業はだれのため
今後の維持管理は市に財政負担
歳出 460億 8278万1千円
災害復旧費 2億 6136万 6703円
台風15号被害などの復旧費
災害の少なかつた木更津市
対平成30年度比 1.78倍
令和2年度も継続中の事業あり
追加予算で 台風に備え
八幡台の街路樹剪定110本 4百万円
橋の修繕や実施設計7ヶ所4千万円
冠水対策等道路補修24ヶ所2千万円

新規事業

9月議会には、国からの第二次地方創生臨時交付金を活用した45の新規事業が並ぶ。システム導入は、維持管理も財政負担も視野に入れるべき。「新しい生活様式」の調査・研究の委託事業は暮らしに即効性はなく、この交付金の活用に疑問だ。

今後、注視したい新規事業	委託	システム
A デジタルサービス推進事業費	○	○
B スマート窓口導入事業費		○
C キャッシュレス決済導入事業費		○
D 里海アクティビティ事業補助金	○	
E サイクルツーリズム拠点整備調査事業費	○	

注目

A デジタルに移行すべき住民サービスを検討し、高齢者も利用しやすい仕組みづくりを事業者に委託。介護保険計画では世帯構成・人数・要介護者数・認知症者数など推計している。この高齢者像に見合った計画なのか、注視。
B 行政窓口での申請に、スマホなどを使って行うシステム導入費用だが、どんな申請に使えるのか、一覧には示されなかった。
C 行政の窓口の支払いをクレジットカードで行うシステムの導入だが、ドコモ口座の詐欺もニュースになっており、状況によっては導入を一時ストップするなどすべきと考える。
D・E 他市で成功しているの、ぜひ木更津市でも調査を委託する。サイクルツーリズムは、まずはどこを走りたいのか安全に走れる道路整備と考える。

市立保育園行事映像制作事業

子どもの成長が楽しみな発表会も、3密対策が必要である。その対策に、市立保育園は映像を撮影しDVDなどで保護者に配付する。これに連動し、私立保育園も補助する。
▼幼稚園や子ども園が対象外の理由は、すでにコロナ禍以前から保育の一環で取り組んでいたと判断したからと所管課。
修学旅行等キャンセル料支援事業
保護者の経済的負担を軽減するため修学旅行(小6・中3)、宿泊学習(小5・中2)のキャンセル料を公費で負担。
▼木更津第一中に取材したところ、「春の修学旅行を秋に延期したものの、またキャンセル。日帰りでもいいから卒業前に企画できたらと考えている」
敬老カタログギフト事業
敬老の集いの対象者、77歳以上の市民に、地元産品やタクシー券など約50品目のカタログが配布され、その中から選んで申し込むと後日自宅に届くという事業。
令和3年4月1日現在77歳以上の方が対象(約1万7千人)



▼毎年の敬老の集いの参加率が低かっただけに、でかせることが困難な高齢者もギフトを選べることで、地元経済の活性化にも貢献できる。地域でお金と潤いが循環する。そこに、敬老の集いの時のような参加を呼びかける声かけも、地域でプラスすれば、人のつながり密度も増加。



田中のりこ 9月議会（一般質問や委員会協議会）の質問でわかったこと



陸上自衛隊オスプレイ 不明な点を洗い出す

- 「今までに保有したことがない新たな機体であるため」と何度も説明する防衛省に、だからこそ、「オスプレイの飛行計画」の情報公開をと求めた。「防衛上、お答えできない」から一転、「前向きに検討」と答弁。
(8.31 基地政策特別委員会協議会にて)
- 市は毎年、陸上自衛隊のヘリコプター場外離着陸場として、木更津市営球場（清見台1丁目）の使用を、災害派遣や防災訓練等の目的に限り、承諾している。
昨年の住民説明会でオスプレイの機体が不具合のときの緊急着陸として、河川敷などの他に場外離着陸場もと答弁していたので、再度確認した。「オスプレイが、今後場外離着陸場を使用するかは検討中。現時点では、離着陸場使用の機種にオスプレイは含まない」と答弁。
- 航空法に基づき申請をした陸上自衛隊オスプレイは、アメリカに3機、木更津に2機。他はまだ製造中。

バス路線のその後 八幡台・羽鳥野・大久保地区

- この秋を目途に、地域住民へのバス路線の再編案を示す該当路線の利用者アンケートを実施する。
- 声の集め方は、市のホームページのアンケートシステムを活用し、バスの車内などにQRコードを掲示し、アクセスできるようにすることになった。それに加えて、より多くの人々の声を聞けるよう、紙を使ったアンケートも実施するように要望した。
- 「令和4年度実証実験の新規の市内循環バス」については、路線が一部重複する「駅前庁舎と朝日庁舎を循環する無料バス」の利用者アンケートをするのに、まず、関係機関との協議をすることがわかった。



緊急通報装置 ゆうちょ銀行口座振替も可能に

- 現行のシステムでは、高齢者や障害者世帯が利用する緊急通報装置の貸与手数料の口座振替はゆうちょ銀行を除いた銀行のみである。今後は、システムを変更し、入金される年金同様、ゆうちょ銀行の口座からの振替もできるようにすると答弁があった。

手数料	所得税非課税世帯	無料	443人
	所得税課税世帯	負担	銀行口座振替 84人 銀行窓口納付 35人



木更津駐屯地周辺地域等振興事業費

市の独自財源で4200万円を基地周辺8自治会と6漁協に交付する。今までにも増して負担増という点は、理解できる。しかし、事業目的（下記参照）が納得できない。

末尾の「市政の円滑な推進に資する」とは、どういうことか。市の立ち位置は、国の下請けではなく、市民の安全・安心を第一に考え、市政を進めるべきではないかと考える。



事業目的

陸上自衛隊V-22 オスプレイの運用により、特に騒音等の負担感が増すことが見込まれる木更津駐屯地周辺地域の自治会活動や漁業振興への支援を行うことにより、オスプレイの運用による影響等を緩和するとともに、市政の円滑な推進に資する。



その後「市政協力員にタブレット貸与」

「活動実態の把握もせずに724万2千円の予算化」と6月議会速報でお知らせしたが、市は7月に、市政協力員にアンケートを実施した。9月議会では、入札業者を募集したものの、不調に終わり、再度仕切り直しと報告された。



●▲■お知らせ伝言板●▲■

問合せ専用TEL 070-2172-8480

▶出前講座

「ごみの出し方・リサイクルのその後」

講師 木更津市環境部職員
日時 9月28日 14:00～
集合 13:45 クリーンセンター玄関
会場 クリーンセンター
★要予約 36-0677(事務所留守電)
★1時間ほどの座学のあと、オプショナルで近隣のリサイクル工場見学あり

▶講座 近代史を学ぶ 大人の学校

テーマ「大東亜共栄圏」
日程 10月8日(木) 14:00～16:00
場所 木更津市民総合福祉会館
★毎月第2木曜日
★予約なしでOK ★資料代100円
★講師 元高校教師の栗原克榮先生



コロナ禍で、今までと違った形での議会■3密を避け、委員会も議場で■委員会の傍聴も別室のモニター画面で■休憩になると職員はあれこれ消毒■もう一つ考えるなら、市民の知る権利、委員会のインターネット中継を切望する。



